

砺波から能登へ
酒蔵の旅
+酒器&アート
ガイドブック



一般社団法人 昇龍道ドラゴンルート推進協議会
<https://www.dragonroute.net/>

酒蔵を訪ね 酒器を愛で アートに触れる

砺波から能登にかけて北陸地方の日本酒造りの特徴は、寒冷な気候が育てた上質な原料 にあります。

米で言えば酒造好適米"五百万石"の産地であり、

水で言えば日本三名山の一つである"靈峰白山"系の水源を有しています。

また日本四大杜氏^{*}の一つに数えられる"能登杜氏"も、この地域の日本酒造りの特徴です。

日本酒造りに適した地で上質な原料を使用し、能登杜氏をはじめとする優秀な杜氏が酒 を醸しています。

本誌では、北陸を代表する酒蔵を紹介するとともに、

酒に合った酒器を含む伝統的な器の工芸や、アート(地元文化)に触れていただきます。

北陸の酒とそれを支える匠の技と文化をご堪能ください。

*日本四大杜氏=石川県の「能登杜氏」は岩手県の「南部杜氏」、新潟県の「越後杜氏」、兵庫県の「但馬杜氏」と並んで
「日本四大杜氏」のひとつとして数えられ、ふくよかで濃醇な日本酒を醸しつづけています。甘口の傾向が強いと言われています。



砺波から能登へ
酒蔵+酒器&アートの旅ガイドブック[目次]

酒蔵	01 若鶴酒造	4
	02 宗玄酒造	8
	03 数馬酒造	12
	04 能登ワイン	16
酒器	05 能作	20
	06 能登島ガラス工房	22
	07 輪島塗しおやす漆器工房	24
	08 珠洲焼 二本松窯	26
アート	09 道の駅井波 いなみ木彫りの里創造館	28
	10 道の駅雨晴	29
	11 石川県能登島ガラス美術館	30
	12 石川県七尾美術館	31
	13 石川県輪島漆芸美術館	32
	14 能登上布会館	33
	15 和倉温泉お祭り会館	34
お酒×酒器×料理 マッチングレシピ	35	
MAP	40	
モデルコース	41	

創業150年以上、飲み手に感動を与える 「美味しい酒」をめざして歴史を刻む

わかつるしゅぞう
若鶴酒造株式会社
富山県砺波市

広大な平野に散居村の風景が広がる、富山県砺波市。夏はさわやかな風が稲穂を揺らし、冬は一面の銀世界に包まれる、自然豊かなこの地で、若鶴酒造の酒は生まれました。徳川時代も末期の文久2(1862)年のことです。

酒造りの命ともいえる仕込み水は、長い時をかけてゆっくりと大地に磨かれた庄川の伏流水。ミネラルがとけ込んだ湧水と豊穰な大地に恵まれた砺波平野は、昔から銘酒のふるさととしても知られています。

酒の出来を左右する米は、富山の大地に育まれた「雄山錦」や兵庫県三田地区で契約栽培する「山田錦」など選りすぐりの酒造好適米。

品質はもちろん、安心・安全であることも大切にしています。酒米の持ち味をあますところなく引き出すため、研究と吟味を重ねた原料で丁寧に醸しています。

昭和27(1952)年から続くウイスキー造りは、若鶴酒造のもうひとつの原点。150年あまりの歴史を刻む酒造りと同じく、こんこんと湧き出る清水と豊かな自然環境を活かし、この地でしかできない味や香りを追い求めています。ウイスキーと酒、原料や製造工程は違っても、「美味しい酒を造りたい」という蔵人の想いは変わりません。





若鶴大正蔵

大正11(1922)年に建築され、越後杜氏による酒造りが行われていた大正蔵。漆喰の壁、瓦葺きの屋根、煉瓦造りの煙突跡など、そのひとつひとつに人々の絶賛を浴びた銘酒「若鶴」の歴史が刻まれています。

歴史的建造物として評価が高く、平成22(2010)年富山県教育委員会によって「とやまの近代歴史遺産百選」に選定。さらに、平成23(2011)年砺波市教育委員会より「砺波市ふるさと文化財」に登録されました。

ウィスキー蒸留所「三郎丸蒸留所」

三郎丸蒸留所は北陸唯一の蒸留所です。昭和27(1952)年の製造開始以来、連綿と受

け継がれてきた製法・材料を生かして今も昔も変わらぬ情熱をもってウイスキーづくりを行っています。ここ富山の地から、世界に愛されるウイスキーを生み出したい。壮大な夢を懸けて、歴史を刻んできた蒸留所は、平成29(2017)年に見学のできる蒸留所へ生まれ変わりました。老朽化した蒸留所を見学施設として再生、モルトから原酒が生まれる工程を体感できます。



若鶴 純米大吟醸
瑠璃(ようのしづく)40

Experience program

見どころ／三郎丸蒸留所：昭和初期の木造トラス構造の建築物と世界初の鋳造製蒸留器「ZEMON」を使用したウイスキー製造工程を見学





酒蔵 02

250年の歴史を誇る奥能登最古の酒蔵 能登杜氏発祥の地

そうげんしゅぞう
宗玄酒造株式会社
石川県珠洲市

創業明和5(1768)年の歴史を誇る奥能登最古の酒蔵。日本四大杜氏に数えられる能登杜氏発祥の地とも言われています。戦国時代の畠山義春をルーツとする宗玄忠五郎が創業し、清酒発祥の地である伊丹で秘伝を習得。宗玄に帰り純良な清酒を醸造、“宗玄剣山”と命名したのが始まりです。名人と呼ばれる能登杜氏を中心に、永い歴史の中で最高の技術と知識、職人の魂を兼ね備えてきました。

宗玄はこの能登杜氏のふるさとである珠洲の地にこだわり、「昔ながらの酒造りに学びながらも、決して真似ることのない」新たな酒造りを続けています。

宗玄酒造はいつの時代も昔ながらにして昔のままにあらず。その流儀を例えるならば“能登宗玄流”。宗玄酒は奥能登びとの、その人柄から生まれた地酒です。毎年、新酒の出来栄えを競う全国新酒鑑評会で、「宗玄 大吟醸」が最高位の金賞を受賞し続け、その銘酒はANA国際線ファーストクラスにも採用されるほど。

北陸初のトンネルを使った日本酒熟成蔵、「隧道蔵」も圧巻です。昔ながらの手法で造られる宗玄のお酒はほんのり甘く、口当たりはやわらかくまろやかな味わいです。





3種類の蔵

宗玄酒造には「明和蔵」「平成蔵」「隧道蔵」の3種類の蔵があります。

「明和蔵」は明和5(1768)年に創業した頃より使われているもの。主に地元向けのお酒が造られています。

「平成蔵」は平成10(1998)年、に新設した蔵です。最新の技術が投入されており、限定流通の高級酒を醸しています。全国新酒鑑評会で「明和蔵」「平成蔵」とも最高位「金賞」を多次回受賞しています。

人気なのは平成25(2013)年からスタートした「隧道蔵」です。平成17(2005)年に惜しまれつつも廃線となってしまった「のと鉄道能登線」

の跡地と隧道の一部を修復して貯蔵庫として活用しています。隧道蔵の中の温度は一年365日、常に12℃。理想的な高い湿度と相まって、日本酒を美味しく熟成させるにはぴったりな環境です。ここには「隧道蔵オーナー俱楽部」システムが導入されており、好きなお酒を6本購入し年間維持管理費を払うと、オーナー名の入った専用棚で好きなだけ貯蔵・熟成してくれます。



Experience program

見どころ／通常10~12度でキープされた貯蔵庫(廃線のトンネルをそのまま利用)

トンネル貯蔵庫(隧道蔵)の案内

料金／5,000円/人





限りある資源を守りながら、 能登の醸造文化を世界に発信する

かずましゅぞう
数馬酒造株式会社

石川県鳳珠郡能登町

明治2(1869)年創業、海山の自然に恵まれた石川県能登町に位置する老舗の酒蔵です。地元の契約農家が栽培する能登の米と、山間から湧き出る良質な湧水を使用し、能登の素材にこだわった美味しい酒造りに励んでいます。

代表銘柄「竹葉(ちくは)」は、食の時を楽しむことをコンセプトに醸し、口当たりの良さときれいな味わいは、まさに食中酒として最適です。2018年には「竹葉 能登純米」が、県観光連盟の県優良観光土産品コンクールにおいて、最高賞である知事賞を受賞しました。また、2020年には「竹葉 生酛純米 奥能登」が、世界最大級のワインコンクール「インターナショナル・ワイン・チャレンジ2020」のSAKE部門で、能登初のリージョナルトロフィーを受賞するなど、その酒造りは世界中から注目されています。

数馬酒造は「能登を醸す」を経営理念に掲げ、清酒事業・リキュール事業・醤油事業を営んでいます。醸しのものづくりで能登の魅力を高めることを使命とし、原料米の調達能登産100%を実現するなど、地域に根差した活動に取り組んでいます。

2015年9月の国連サミットでSDGs(持続可能な開発目標)が採択される以前より、持続可能なものづくりに向けて取り組んできました。具体的には、蔵人の通年雇用、泊まり込みや早朝深夜の作業を廃止、また一般職では時短勤務や在宅勤務者の雇用受け入れなどを行い、働きやすい環境づくりを構築しています。



お米のこだわり

数馬酒造では原料の良し悪しを見極めるため、自社での精米にこだわっています。玄米から仕入れるため米の再選別ができ、その年の米の状態によって1%単位で磨きが調整できるのが最大の利点です。

現在、地元能登の契約農家7社と連携して酒米を栽培するなど、使用的する原料米の100%が能登産となっています。また、世界農業遺産に認定された能登の里山里海の景観を維持するため、地元農家と連携した「水田作りからの酒造り」にも取り組んでいます。耕作放棄地を開墾し、水田に蘇らせ、実った米で酒を醸すプロジェクトは、2014年の開始以来およそ東京ドーム6個分の耕作放棄地の削減に成功しています。

仕込み水

日本酒を造るうえで非常に重要な仕込み水ですが、その硬度によって酒の味は大きく変わります。数馬酒造では能登半島の内陸部に位置する能登町(旧柳田村)の山間から湧き出た水を仕込み水として使用しています。この湧き水は硬度が1.7と全国トップレベルで柔らかく、口当たりの優しいふくらみのある酒造りには欠かせないものとなっています。

また、地域資源の価値を最大化するものづくりを目指すなかで、地域資源である海洋深層水に着目し、数年前から仕込み水に海洋深層水を使用するお酒も数を増やしています。

挑戦し続けるものづくり

数馬酒造では若手が活躍できるクリエイティ

ブな酒造りを目指し、2015年には醸造責任者に社員を据えて、季節雇用の杜氏制の酒造りから社員が一丸となった酒造りに切り替えました。

また、醸造社員にそれぞれタンク1本の自由醸造をさせる「責任醸造制度」を設け、社員の



能登産葡萄にこだわった生ワイン 能登の新しい“地酒”へ

のと
能登ワイン株式会社

石川県鳳珠郡穴水町

この小さなワイナリーがワインづくりを始めたのは、平成18(2006)年のこと。それからわずか数年、国産ワインコンクールで4年連続の入賞を果たすなど、全国のワイン爱好者から大きな注目を集めますなどの飛躍を見せてています。

能登穴水の小さなワイナリー「能登ワイン」の挑戦は、まったく何もないところからスタートしました。能登空港の開港を機に、能登の新しい特産品を生み出そうと、地元産の葡萄にこだわったワイン製造を志します。まずワイン用葡萄品種の苗木栽培から始まり、赤土だった畑にミネラル豊富な牡蠣貝を混ぜ込むなどして土壤を改良、そして葡萄を襲う数々の病気との戦い…。まさに試行錯誤の連続です。

通常、このようにワイン専用種の葡萄をいちから栽培した場合、本格的な収穫まで5年はかかるとされているのですが、それにも関わらず、まだ歴史の浅いこのワイナリーが高い評価を受けるのには理由がありました。

能登ワインに使用される葡萄はすべてハサミで収穫しており、枝の剪定も除葉作業もすべてが手作業。ワインは葡萄果汁のみで造られる飲み物だからこそ、【ワイン造りは葡萄づくり】を信条に、葡萄栽培と真摯に向き合っています。

また、里山里海の恵みである能登の食材を料理とあわせて世界に発信し、夢と魅力ある能登活性の実現を目指しています。





能登ワインの特徴

「能登産の葡萄が原料」「加熱処理を施さない生ワイン」が特徴です。年月を重ねるごとに瓶の中で熟成が進み、ワインの味がさまざまな表情へと移ろいでいきます。なかでも、能登ワインを代表する葡萄品種は「ヤマソーヴィニヨン種」で、この葡萄から造る赤ワインは国内のコンクールで高く評価されています。

ワイナリー見学

能登ワインは葡萄畑が広がる丘の上にワイン醸造所を持ち、試飲と見学会が自由にできるギャラリーがあります。ワイナリーでは、醸造所の見学やワインの試飲ができます。約8種類のワイン

を飲み比べた上で選べるのは楽しいものです。直売店ではワインのほか、ワインを使用したお菓子などの加工食品や、地元産のお土産品も揃えています。

ワイナリーから眺める景観がお薦めで、ヨーロッパの葡萄畠にいるかのようで心が癒されます。



Experience program

ブドウ畠の見学(所要時間:20分程度)
秘蔵ワインの試飲(コンクール受賞ワイン)
クオネス ヤマソーヴィニヨン グラス1杯
※屋外のテーブル席にて、晴れていれば雰囲気最高
料金／秘蔵ワインの試飲(3~5名)1,650円



酒器 05

より能いもの
より能い鋳物を、より能く作る
創業100年を数える鋳物のメッカ

のうさく
株式会社能作
富山県高岡市



能作が鋳物の製造をはじめたのは大正5(1916)年。創業当時は主に仏具、茶道具、花器を製造していました。転機が訪れたのは昭和40(1965)年頃。豊かさを増す日本人の生活に着目し、モダンなデザインの花器を開発したところ、それがヒットし、業務は拡大の一途をたどります。しかし、ライフスタイルの変化、さらには、景気の低迷や生産拠点の海外移転増加による低価格化など、時代の波にはあらがえず伝統的な花器や茶道具・仏具の需要は徐々に減少。能作は苦境に立たれます。

昭和59(1984)年、現・代表取締役社長であ



る能作克治が入社。18年間、一職人として鋳造に明け暮れた克治は、やがてこの磨きあげた技術を活用して自社製品を開発したいと考えるようになります。道が拓けたのは平成13(2001)年の東京原宿で開催された展示会「鈴・林・燐」。素地の美しさを生かした真鍮(しんちゅう)製のベルが注目を集め、セレクトショップでの取り扱いがはじまりました。この形では売れなかったベルに当時の販売員のアドバイスから、短冊をつけて風鈴にしたとたん、毎月1,000個以上が売れる大ヒットに。

以降、克治は、お客様の声にこたえる製品を開発することを決意します。現在、主力となっている錫(すず)100%の製品も、「食器をお求めの方がたくさんいらっしゃる」という販売員の話をきっかけに生まれました。

Experience program

昇龍道ツアーリミテッド飲み比べセット／カフェにて、能作の酒器での飲み比べセットや珍味を提供
※要事前予約

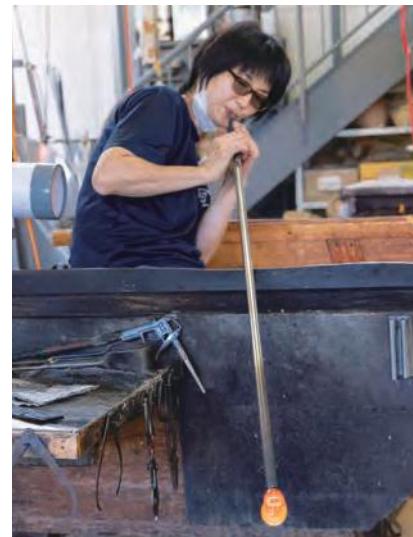


能登で人気のガラス体験スポット 長期ガラス講座は多くのガラス作家を輩出

のとじま
能登島ガラス工房
石川県七尾市



さまざまなガラス工芸技法を用い、多くのガラス製品を製造・販売しています。工房の目玉であるガラス製作体験は「能登島」へ訪れる方の旅行の思い出、お土産として喜ばれているほか、本格的にガラス製作技術を学ぶ人のために開講した「長期ガラス講座」は、30年の歴史を持つに至りました。今では全国各地で活躍する多くのガラス作家を生み出すまでに成果をあげています。



能登島ガラス工房では、吹きガラス体験、サンドブラスト体験、お絵描きガラス体験、アクセサリー体験など、さまざまなガラス製作が体験できる大人気のスポットです。また、工房オリジナルブランド「耐熱耀変ガラス」は、透明感を残しつつ、まるで陶磁器のような質感と色。味わいと機能が両立した耐熱ガラスとして好評です。

Experience program

見どころ／実際に吹きガラスでの制作の様子が見学できる。

①吹きガラス体験 ②サンドブラスト体験 ③アクセサリー制作体験 ④お絵かきガラス体験

料金／①3,300円／人～(送料別) ②1,100円／人～
③1,650円／人～(送料別) ④1,320円





酒器 07

輪島の風土で磨き上げられた 日本最高峰の伝統工芸

わじまぬり しつきこうばう
輪島塗しおやす漆器工房
石川県輪島市



輪島塗しおやす漆器工房は、安政5(1858)

年初代塩安忠左衛門が、輪島塗の塗師として独立した日よりはじめます。当初は、塗の仕事を請け負って下地職人として仕事をしていました。

商売を始めたのは三代目 塩安政之蒸で、時代は明治40(1907)年のことです。政之蒸は、当時北陸から、中国地方に鉄道がひかれることに着目し、鳥取県へ販路を拡大しました。鳥取では当時と変わらず「椀講」又は「輪島講」と呼ばれる方法で商売をしています。その時に使用する講帳と呼ばれる書面がありますが、現在も講主として塩安政之蒸の名が記されています。

昭和に入り戦争を経て日本が復興していく中、四代目塩安誠治が店舗を開設し、現在のし



おやす漆器工房の基礎ができました。

しおやす漆器工房は初代から受け継がれてきた技術と、それを受け継いできた先達の向上心と努力で、古き良き輪島塗と、新しい輪島塗の両方を今日も磨き上げています。

輪島塗は本地に下地を厚く施し、丈夫さと美しさを両立させた、輪島市で作られる漆器のこと。特に微生物の化石からなる珪藻土を水で練って素焼きし、細かく碎いたものを漆に混ぜて塗る下地が輪島塗の最大の特徴で、江戸時代享保期頃に技術が確立し、日本の伝統工芸となっています。全国の漆器産地の中で国指定重要無形文化財団体指定を受けているのは輪島塗だけです。

Experience program

オリジナルぐいのみ片口セット製作体験／オリジナル柄の「輪島塗ぐいのみ片口セット」正真正銘の輪島塗を扱う、他にはない体験ができます。

料金／30,000円/人 1~6名迄(ぐいのみ、片口代含む)



「幻の古陶」珠洲焼の 黒の系譜を受け継ぎ現代に活かす

す ず やき に ほんまつがま
珠洲焼 二本松窯

石川県珠洲市



珠洲焼は、12世紀後半から15世紀末にかけて能登半島の先端・珠洲郡内(現在の珠洲市周辺)で作られた中世を代表する焼物です。14世紀には日本列島の四分の一に広がるほど隆盛を極めましたが、戦国時代に忽然と姿を消しました。以来、「幻の古陶」とよばれてきた珠洲焼ですが、わずかに残された断片からその姿が明らかになるにつれ、素朴で力強い美しさが人々の心を魅了し、約400年の時を経て再び発祥の地によみがえりました。

よみがえった珠洲焼が放つ、深い黒の輝きや手仕事ならではのあたたかみ、謎に満ちた存在そのものが人々の心を捉え、再興以来、珠洲焼に情熱を注ぐ現代の陶工たちが誕生。遙か昔に、この地で陶器づくり一筋に生きた古の陶工たちの魂を受け継ぎ、新たな珠洲焼の歴史を刻んでいます。



珠洲焼は、古墳時代中期に大陸から伝わった須恵器(すえき)の流れを汲んでいるといわれています。鉄分を含む珠洲の土を用い、大きな物は粘土紐を積み上げながら形を整え、叩き締めて素地の強度を高めるという技法による作品が多い。現代でもその技術を用い、中物や小物はロクロ挽きで作ることが多い。1,200°C以上の高温で焼き締め、窯焚きの後半では酸素不足の炎で、独特の「燻べ焼き(くすべやき)」という方法で焼き上げます。釉薬(うわぐすり)を使わず、薪の灰が高温で溶けて自然の釉薬となります。数日間の焼成で、素地もよく焼き締まって水漏れを防ぐ。燻べ焼き(炭化焼成)により、黒灰色の渋い艶を醸し出します。

Experience program

珠洲焼の器作り体験／珠洲の土を使ってカップや茶碗など小さな器を作る。※最大4名まで。焼成後の作品送料は別途。海外送付は対応不可
料金／粘土1kg使用 3,500円



アート 09

木彫りのまちで楽しむ彫刻体験

みち　えき　いなみ　き　ば　さとそうゆうかん
道の駅井波 いなみ木彫りの里創遊館

富山県南砺市

見て、食べて、体験して、たくさんの「遊」がつ
まった魅力的な道の駅です。いなみ木彫りの里
創遊館（道の駅井波）は、伝統工芸井波彫刻
の技術が間近で見学できる「匠工房」、木製品
を中心に富山県内のお土産がそろった物産コ
ーナー「なんと楽市」、小さいお子様から大人ま



で楽しみながら木彫体験ができる「くりえーと工
房」など木彫刻の町井波を満喫できる複合型
施設です。

Experience program

ぐい呑み製作体験／特別木材:木曽ヒノキ使用
料金／3,000円



アート 10

絶景を眺め、歴史浪漫に思いを馳せる

みち　えき　あまはらし
道の駅雨晴

富山県高岡市

雨晴海岸は、万葉集に「渋谿(しぶたに)」と
詠まれた岩礁多く白砂青松の景勝の地で、富
山湾越しに3,000メートル級の立山連峰を望む
ことができます。万葉集の代表的歌人である大
伴家持もしばしば当地を訪れ、いくつもの歌を詠
んでいます。道の駅正面に位置する「義経岩」
は、源義経が奥州へ落ち延びる途中、にわか
雨の晴れるのを待ったという岩で、地名「雨晴



(あまはらし)の由来となっています。

また、雨晴海岸からの景色は、松尾芭蕉が
『おくのほそ道』に詠んだ由緒地でもあり、「女岩
(めいわ)」と「義経岩」は、「おくのほそ道の風
景地—有磯海(ありそみ)ー」として国名勝に
指定されています。オーシャンビューのカフェか
ら日の出を眺め、モーニングを楽しんでみては。

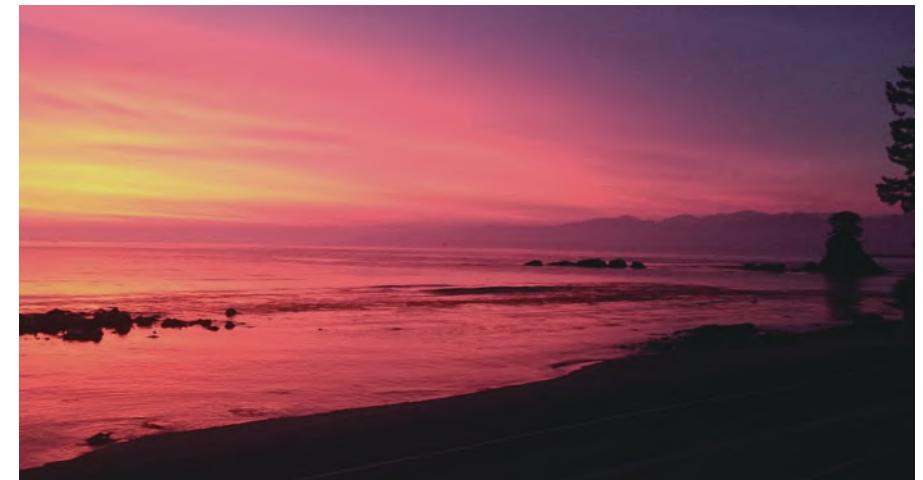
Experience program

日の出会／冬季(11月～2月)

オーシャンビューのカフェから日の出が上がるのを
眺め、モーニングコーヒーを。ラジオ体操、朝ヨガも
オプションで体験できる。

利き酒会／通年(年末年始、GW、お盆を除く)
絶景を眺めながら、富山の地酒を、高岡鋳物のぐい
呑みで飲み比べ。

料金／お問い合わせ



アート 11

きらめく海とガラスに出会える美術館

いしかわけん の と じま びじゅつかん
石川県能登島ガラス美術館

石川県七尾市

世界各国の現代ガラス作家の造形作品を中心^に450点近くの作品を収蔵しています。古今東西のガラス作品を紹介する企画展を開催するほか、ガラスを身近に楽しめるワークショップも開催しています。また、屋外にはガラス彫刻作品がある洋風庭園と、枯山水の和風庭園があり、対照的な2つの庭園には、洋と和が出会う場=東西の文化交流の場という意味が込められています。洋風庭園には14点のガラス彫刻作品が設置されています。



主な収蔵品に、中国清朝時代のガラス工芸のほか、造形作品ではピカソやシャガール、コクトーなど20世紀を代表する芸術家たちのデザインをもとに、ヴェネチアのガラス工房で作られた作品、ダリとフランスのドーム社との共同制作による作品、国内外で活躍する現代作家による作品などがあります。



Experience program

学芸員による展示作品の解説 ※要事前予約 ※新型コロナウイルス感染症感染状況により変更あり



アート 12

七つの尾根がある能登唯一の総合美術館

いしかわけん なな お びじゅつかん
石川県七尾美術館

石川県七尾市

七尾の地名にちなんだ7つの連続したドーム型の屋根を特徴とする、能登地区で唯一の総合美術館。

七尾市出身の実業家・池田文夫氏収集の「池田コレクション」や「能登ゆかりの作家・作品」の所蔵・展示が主要テーマです。

特に全国的に有名な長谷川等伯の生誕地であることから、毎年春にその特別展をシリーズ



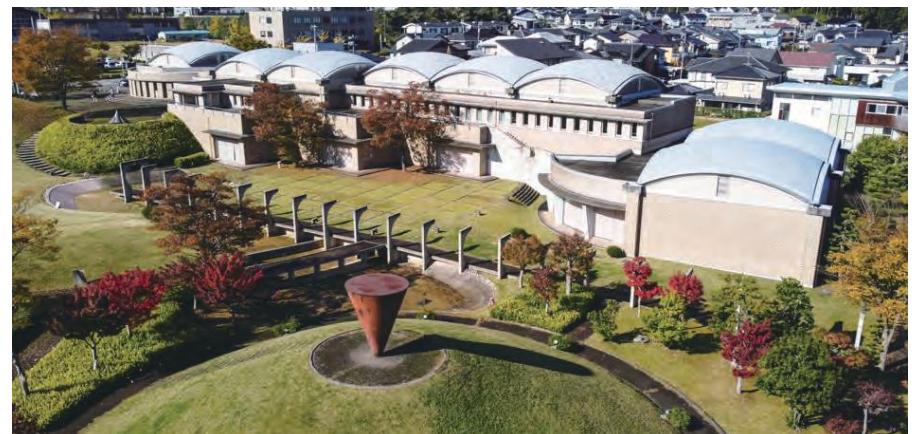
で開催。同展では、等伯や「長谷川派」画家たちの作品が幅広く紹介されます。

また、秋には特別展「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」を開催するなど、多彩な展覧会を開催しています。



Experience program

学芸員による展示作品の解説 ※要事前予約 ※新型コロナウイルス感染症感染状況により変更あり



アート 13

漆の里・輪島が誇る漆芸専門の美術館

いしかわん わ じましつげいびじゅつかん
石川県輪島漆芸美術館

石川県輪島市

石川県輪島漆芸美術館は常時全室で漆芸品を展示している漆芸専門の美術館です。漆芸は日本が世界に誇る優れた工芸の一つであり、輪島市は日本を代表する高級漆器「輪島塗」の産地として有名です。

建物の外観は正倉院の校倉造をイメージした特徴的なデザインで、吹き抜けの広々とした館内はそこかしこに漆を用いています。展示室では古典から現代の漆芸作品をテーマとした企画展や、日本を代表する漆器として知られる輪島



塗の技と歴史について触れる常設展をご観覧ください。

また、漆器の製作工程や漆芸作家の作品理解を深める映像の視聴もできます。

Experience program

人間国宝から学ぶ輪島塗／輪島市在住の重要無形文化財保持者（人間国宝）の先生方から、輪島塗や作品制作にまつわる話を聞き、その後展示室で作品を鑑賞。※所要約2時間

料金／1グループ（1名～最大5名）：30,000円



アート 14

能登上布の技を後世に伝える伝承館

の と じょうふかいかん
能登上布会館

石川県鹿島郡中能登町

能登上布は麻糸を用いた手織りの織物で、麻特有の通気性や軽さに加え、さらりとした肌触りで、細かい絹（かすり）模様が特徴です。

およそ2000年前に崇神天皇の皇女が現在の中能登町能登部下に滞在した際、この地に機織りを教えたことが始まりと伝えられています。その後、江戸時代に近江（現：滋賀県）から職工を招いて技術を導入後発展し、昭和の初期には麻織物の生産高で全国一を誇りました。



施設内では、能登上布の製造工程を見学することができます。精緻な熟練の技や、工程の中で使用される様々な道具を間近に見るのは貴重な体験です。

Experience program

能登上布織り体験

料金／30cm（白糸1,600円、2色1,700円） 70cm（白糸3,200円、2色3,400円）



アート 15

わくらおんせん まつ かいがん
和倉温泉お祭り会館

石川県七尾市

七尾市を代表する4つの祭り「青柏祭(せいはくさい=国重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産)」、「石崎奉燈祭(いっさきほうとうまつり=日本遺産)」、「お熊甲祭(おくまかぶとまつり=国重要無形民俗文化財)」、「能登島向田の火祭(のとじまこうだのひまつり)=県無形民俗文化財」を中心に、祭り文化と歴史を紹介する施設。なかでも大スクリーンを使用した映像と音による演出で、祭りの迫力と臨場感を体感



できる体験ゾーンが圧巻。実物大の「でか山」や「奉燈」、「榊旗」、「柱松明」などが展示され、歴史文化解説コーナーでは、実際に使用された祭り道具や、準備風景の映像なども楽しめます。

Experience program

お祭り疑似体験／青柏祭(青柏祭の曳山行事)、能登島向田の火祭、石崎奉燈祭、お熊甲祭(熊甲二十日祭の榊旗行事)のお祭り疑似体験(各10分程度)



お酒×酒器×料理 マッチングレシピ

日本酒と美味しい肴をこよなく愛するフードコーディネーターが

北陸地方ならではの、上質なお酒、伝統工芸の酒器、豊富な食材で作る料理
どのようにマッチングするのが、北陸をより楽しめるのか、
おすすめのマッチングを選び、そのポイントを教えます。

協力／日本料理：和倉温泉 多田屋、洋食：若鶴酒造 令和蔵



01



能登娘雪洞



02



鯉 鰐子付け 甘エビ 一口蟹酢



豊潤な香りと味わい深い至高の逸品には、能登島ガラスのぐい飲みで華やかさを出しました。スッキリとしていて後味も軽く、魚介との相性も抜群です。

03



能登蕪の風呂吹き 源助大根風呂吹き



3年熟成の独特的芳醇さを持つ古古酒大吟醸。輪島塗の口当たりが滑らかで、鼻から抜け心地よい香りが、温かいお料理とも上手く馴染みます。

04



能登牛のしゃぶしゃぶ



香ばしい旨味とキレが能登牛ともピッタリ！珠洲焼が日本酒の持つ雑味をまろやかな風味に変えてくれるので、飽きずに飲み進められます。

05



富山湾で獲れた地魚のマリネ
花園風サラダ仕立て

×
ちくは
竹葉 イカ純米
(数馬酒造)

能登島ガラス 銀彩貝紋 黄色
(能登島ガラス工房)

イカのために醸された純米酒なだけに魚介に
ピッタリ合います。能登島ガラスの器で華や
かさをプラスしました。

06



かぶ
のどぐろと蕪の蒸し焼き

わかつる ようのみね
若鶴 大吟醸 瑞嶺35
(若鶴酒造)

高岡鋳物 竹型酒器セット
(能作)

豊潤な香りと深い味わいの瑞嶺には能作の
酒器で。後味がスッキリとまるやかさも楽し
め、のどぐろの脂とも上手く調和します。

07



い ろ り
富山県産和牛の団炉裏焼き

しづく
能登ワイン 赤ワイン 心の雫
(能登ワイン)

す ず
珠洲焼 ワイングラス
(珠洲焼二本松窯)

カップ内に広がる樽香やチョコレートのよう
な甘く香ばしい香り。珠洲焼の持つ力が酸味
も渋みも柔らかくスッと馴染みお肉の旨味を
引き立てます。



山根 ひとみ
フードコーディネーター

地域特産品や規格外品を使った商品開
発やメニュー開発等を行う。都内の飲食
店で石川県産食材を使った賞味会などの
企画開催。有害鳥獣捕獲も行い農作物の
保護や、ジビエ料理の提案やアドバイスも
行っている。

プリン専門店D'or((ドール)のプロデュー
サー。かなざわ食マネジメント専門職大学
に在学中。



MAP



昇龍道 酒蔵ツーリズム モデルコース

2泊3日コース(金沢発着 和倉温泉・ひみ温泉郷各1泊)

日付	地名	時間	交通機関	スケジュール
1日目	東京 金沢 輪島 宇出津 珠洲 和倉	6:16 8:45 9:00 11:00-11:45 12:40-13:40 13:50-14:30 15:00-16:00 16:30-17:10 18:40 19:30	新幹線 専用車	東京駅発 金沢駅着 金沢駅発 しおやす漆器工房(説明付き工房見学) 【昼食】 数馬酒造(説明・試飲) 宗玄酒造(のトロ乗車・トンネル貯蔵、説明付き見学、試飲) 珠洲焼 二本松窯(説明付き工房見学) ホテル着 【夕食】 和倉温泉宿泊
2日目	和倉 穴水 能登島 砺波 氷見	7:30 9:00 10:00-11:00 11:45-12:45 13:00-14:00 14:10-14:50 16:30-17:30 17:30-19:30 20:20	専用車	【朝食】 ホテル発 能登ワイン(説明付き工場見学・試飲) 【昼食】 能登島ガラス美術館(学芸員説明付き見学) 能登島ガラス工房(吹きガラス体験・説明付き見学) 若鶴酒造(蒸留所・酒蔵 説明付き見学・試飲) 【夕食】 ホテル着 ひみ温泉郷宿泊
3日目	氷見 高岡 南砺 高岡 金沢 東京	6:15 6:30-7:50 9:00-9:50 10:30-12:30 13:00-14:00 15:00 15:56 18:28	専用車 新幹線	ホテル発 道の駅雨晴(日の出を見ながら、朝食) 木彫りの里井波・八日町通り(木彫り見学・散策) 能作(説明付き工場見学・鑄物製作体験) 【昼食】 金沢駅着 金沢駅発 東京駅着



道の駅雨晴

2泊3日コース(高岡発金沢着 和倉温泉2泊)

日付	地名	時間	交通機関	スケジュール
1日目	東京	7:20	新幹線 専用車	東京駅発
	高岡	10:47		新高岡駅着
	砺波	11:00		新高岡駅発
	高岡	11:30-12:30		若鶴酒造(蒸留所・酒蔵 説明付き見学、試飲) 【昼食】
	南砺	12:30-13:30		能作(説明付き工場見学)
	和倉	14:00-14:30		木彫りの里井波・八日町通り(木彫り見学・散策)
		15:00-16:00		ホテル着
		18:00		【夕食】
		19:00		和倉温泉宿泊
2日目	氷見	7:00	専用車	【朝食】
		8:30		ホテル発
	珠洲	10:00-11:00		宗玄酒造(のトロ乗車・トンネル貯蔵庫説明付き見学、試飲) 【昼食】
		11:40-12:40		珠洲焼 二本松窯(見学)
	宇出津	13:00-14:00		数馬酒造(説明・試飲)
		15:00-16:00		ホテル着
		17:30		【夕食】
	和倉	19:00		和倉温泉宿泊
3日目	和倉	7:00	専用車 新幹線	【朝食】
		8:30		ホテル発
	能登島	9:00-9:40		能登島ガラス工房(吹きガラス体験・説明付き見学)
	穴水	10:30-11:15		能登ワイン(説明付き工場見学・試飲) 【昼食】
	輪島	12:00-13:00		石川県輪島漆芸美術館(人間国宝による説明見学)
		13:30-15:00		しおやす漆器工房(漆塗り体験・説明付き工房見学)
	金沢	15:10-16:30		金沢駅着
		18:30		金沢駅発
	東京	19:19		東京駅着
		21:56		



白米千枚田

3泊4日コース(高岡発金沢着 ひみ温泉郷・和倉温泉・輪島各1泊)

日付	地名	時間	交通機関	スケジュール
1日目	東京	7:52	新幹線 専用車	東京駅発
	高岡	10:47		新高岡駅着
	砺波	11:00		新高岡駅発
	高岡	11:20-12:20		若鶴酒造(蒸留所・酒蔵 説明付き見学、試飲) 【昼食】
	南砺	12:30-13:30		能作(説明付き工場見学)
	氷見	14:00-15:00		木彫りの里井波・八日町通り(木彫り見学・散策)
		15:30-16:30		ホテル着
		17:30		【夕食】
		19:00		ひみ温泉郷宿泊
2日目	氷見	6:00	専用車	ホテル発
	高岡	6:30-8:00		道の駅雨晴(日の出をみながら朝食)
	中能登	9:30-10:30		能登上布会館(機織り体験・見学) 【昼食】
	能登島	11:30-13:00		能登島ガラス工房(吹きガラス体験・説明付き見学)
		13:30-14:30		能登島ガラス美術館(学芸員説明付き見学)
	和倉	14:40-16:00		ホテル着
		16:30		【夕食】
		19:00		和倉温泉宿泊
3日目	和倉	7:30	専用車	【朝食】
		9:00		ホテル発
	穴水	10:00-11:00		能登ワイン(説明付き工場見学・試飲)
	宇出津	11:30-12:10		数馬酒造(説明・試飲) 【昼食】
	珠洲	12:20-13:30		宗玄酒造(のトロ乗車・トンネル貯蔵庫説明付き見学、試飲)
		14:00-15:00		珠洲焼 二本松窯(説明付き工房見学)
	輪島	15:30-16:30		ホテル着
		17:30		【夕食】
		19:00		輪島宿泊
4日目	輪島	7:30	専用車 新幹線	【朝食】
		9:00		ホテル発
		10:00-11:30		輪島市内観光(輪島朝市、白米千枚田) 【昼食】
		11:45-12:45		石川県輪島漆芸美術館(人間国宝による説明見学)
		13:00-14:40		しおやす漆器工房(漆塗り体験・説明付き工房見学)
	金沢	15:00-16:30		金沢駅着
		18:30		金沢駅発
	東京	19:19		東京駅着
		21:56		

4泊5日コース(高岡発金沢着 ひみ温泉郷1泊・和倉温泉2泊・輪島1泊 オプション選択有)

日付	地名	時間	交通機関	スケジュール
1日目	東京	7:52	新幹線 専用車	新幹線 東京駅発 新高岡駅着 新高岡駅発 若鶴酒造(蒸留所・酒蔵 説明付き見学、試飲) 【昼食】 能作(説明付き工場見学) ★選択① 能作(鑄物製作体験) ★選択② 木彫りの里井波・八日町通り(木彫り見学・散策) ホテル着 【夕食】 ひみ温泉郷宿泊
	高岡	10:47		
	砺波	11:00		
	砺波	11:20-12:20		
	高岡	12:20-13:20		
	高岡	13:30-14:00		
	南砺	14:00-15:30		
	氷見	14:30-15:30		
		17:00		
		19:00		
2日目	氷見	6:00	専用車	★選択① ホテル発 ★選択① 道の駅雨晴(日の出をみながら朝食) ★選択② 【朝食】 ★選択② ホテル発 七尾一本杉通り散策(花嫁のれん館、高澤ろうそくなど) 石川県七尾美術館(学芸員説明付き見学) 【昼食】 能登島ガラス工房(吹きガラス体験・説明付き見学) 能登島ガラス美術館(学芸員説明付き見学) ホテル着 【夕食】 和倉温泉宿泊
	高岡	6:30-7:30		
	氷見	7:00		
		8:30		
	七尾	9:30-10:30		
		11:00-12:00		
	能登島	12:30-13:30		
		14:00-14:40		
		15:00-16:00		
	和倉	16:30		
		19:00		
3日目 (オプション)	和倉	7:30	専用車	【朝食】 ホテル発 ★選択① 能登上布会館(機織り体験・見学) ★選択① 和倉温泉お祭り会館(説明付き見学) ★選択① 自由行動(能登島観光など) ★選択② 自由行動(能登観光など) ホテル着 【夕食】 和倉温泉宿泊
	中能登	9:00		
	和倉	10:00-11:00		
		11:30-12:30		
		12:30-17:00		
		9:00-17:00		
		17:00		
		19:00		
4日目	和倉	7:30	専用車	【朝食】 ホテル発 能登ワイン(説明付き工場見学・試飲) 数馬酒造(説明・試飲) 【昼食】 宗玄酒造(のトロ乗車・トンネル貯蔵説明付き見学、試飲) 珠洲焼 二本松窯(説明付き工房見学) ホテル着 【夕食】 輪島宿泊
	穴水	9:00		
	宇出津	10:00-11:00		
		11:30-12:10		
	珠洲	12:20-13:30		
		14:00-15:00		
	輪島	15:30-16:30		
		17:30		
		19:00		
5日目	輪島	7:30	専用車 新幹線	【朝食】 ホテル発 輪島市内観光(輪島朝市、白米千枚田) 【昼食】 石川県輪島漆芸美術館(人間国宝による説明見学) しおやす漆器工房(漆塗り体験・説明付き工房見学) 金沢駅着 金沢駅発 東京駅着
		9:00		
		9:00-11:30		
		11:45-12:45		
	金沢	13:00-14:40		
		15:00-16:30		
		18:30		
	東京	19:19		
		21:56		



「昇龍道」ってなに?

中部北陸地域の形は、能登半島の形が龍の頭の形に似ており、龍が昇っていく様子を思い起させることから、地域の観光エリアを「昇龍道」と名付けました。

この地域には、龍にまつわる伝説、祭り、地名も数多くあります。

「昇龍道」の魅力

この地域は、日本の魅力が凝縮されています。多くの温泉、美しい自然環境、徳川家康をはじめとする歴史文化・建造物、伝説や祭りなど、盛りだくさんの観光スポットに恵まれています。また、牛肉料理、新鮮な魚介類など美味しい食材にも恵まれています。この魅力あふれる中部北陸地域、すなわち「昇龍道」に、多くの方々にお越しいただき、ぜひ皆様に、旅を満喫していただきたいと願っています。